

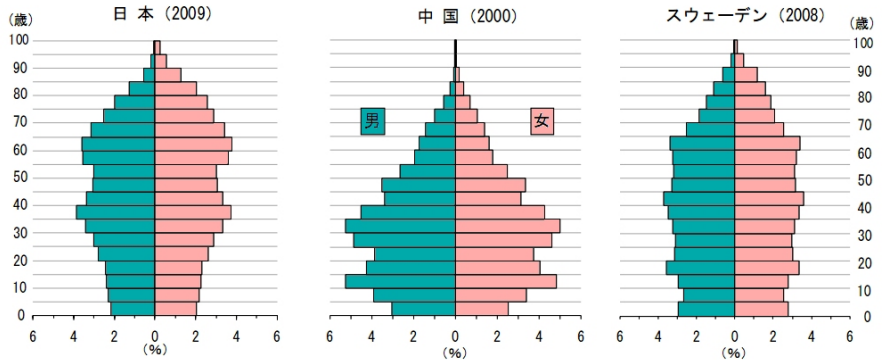
Hello! FUJISEI

No. 77

世界の人口、70億人に！

日本の総人口は横ばい すでに高齢社会が到来

各国の人口ピラミッド 総務省統計局「世界の統計2011」



国連人口基金（UNFPA）によると、世界の人口は10月31日、推計で70億人に達しました。各国で記念イベントが行われ、UNFPA東京事務所は、この日生まれた赤ちゃんに対して、「70億人目の赤ちゃんの一人」の認定証を発行すると発表しました。この日、世界では約21万人、日本は推定2900人が誕生したとみられています。

世界の人口は、18世紀の産業革命以降に増加ペースが早くなり、20世紀には“人口爆発”と呼ばれる人類史上最大の人口増加を経験しました。国連の推定では1900年におよそ16億人だった世界人口は1950年におよそ25億人となり、1998年には60億人にまで急増しました。世界人口が50億人に到達したと推計される1987年7月11日を記念して、国連人口基金では1989年にこの日を「世界人口デー」と制定しています。

ところで、日本の総人口は平成23年10月1日現在（概算値）で1億2772万人で、前年同月に比べて34万人減少しており、横ばい状態となっています。人口ピラミッドを見ると、人口増加が続いている中国がピラミッド型であるのに対し、日本は高齢社会とされるスウェーデンよりも高齢化が進んだ形となっています。

